



Firepower Management Center のメモリ アップグレード手順

ここでは、Cisco Firepower Management Center 内部のメモリ モジュールを交換する手順を説明します。これらのアイテムを交換するには、アプライアンスのカバーを取り外す必要があります。このマニュアルの構成は次のとおりです。

- [メモリ アップグレードの概要 \(B-1 ページ\)](#)
- [静電気防止対策を施した環境での作業 \(B-2 ページ\)](#)
- [安全上の警告 \(B-3 ページ\)](#)
- [シャーシカバーの取り外し \(B-3 ページ\)](#)
- [プロセッサエアダクトの取り外し \(B-6 ページ\)](#)
- [DIMM の交換 \(B-9 ページ\)](#)
- [プロセッサエアダクトの取り付け \(B-14 ページ\)](#)
- [シャーシカバーの取り付け \(B-18 ページ\)](#)

メモリ アップグレードの概要

追加のソフトウェア機能拡張の導入に伴ない、Firepower Management Center MC750 (Rev. 1 または Rev. 2)、MC1500、および MC3500 モデルの最小メモリ要件が変更されました。最小メモリ要件を満たさないアプライアンスはサポートされません。

表 B-1 で、RAM アップグレード要件の概要を説明します。

表 B-1 RAM アップグレード要件の概要

Management Center モデル	出荷時のデフォルト RAM (2014 年 12 月まで)	DIMM の位置	新しい RAM の要件 (2014 年 12 月以降)
MC750 (Rev. 1)	4GB (1.4GB モジュール)	A1	8GB (2.4GB モジュール)
MC750 (Rev. 2)	4GB (1.4GB モジュール)	A1	8GB (2.4GB モジュール)
MC1500	12 GB (4GB モジュール X 3)	A1、B1、および C1	48 GB (16GB モジュール X 3)
MC3500	12 GB (4GB モジュール X 3)	A1、B1、および C1	48 GB (16GB モジュール X 3)

Firepower 7000 および 8000 シリーズ Management Center 出荷時のデフォルト RAM のアップグレード

Firepower MC750、MC1500、および MC3500 Management Center はすべて、2014 年 12 月以降のメモリ要件に対応するため、デフォルトメモリが増量した状態で出荷されます。



コメント

2014 年 12 月以前にすでに展開済みの Firepower MC1500 と MC3500 Management Center は、装着されているデフォルトの 12 GB RAM で意図されているとおりに機能するはずですが、パフォーマンスの問題が発生した場合は、ご使用の特定の展開に対応した RAM アップグレードオプションについてシスコにお問い合わせください。

既存の Firepower Management Center のアップグレードパス

表 B-2 に、最新のソフトウェア リリースを展開できるようにする目的で既存の Firepower Management Center をアップグレードするためのメモリ アップグレードキットを示します。



注意

装着されているすべての DIMM を取り外し、アップグレードキットのモジュールに交換する必要があります。

表 B-2 Firepower Management Center のメモリ アップグレードキット

メモリ キット	適用可能な Management Center モデル
FS750-MEM-KIT=	MC750 (Rev. 1) MC750 (Rev. 2)
FS3500-MEM-KIT=	MC1500
FS3500-MEM-U=	MC3500

静電気防止対策を施した環境での作業

静電放電 (ESD) によって機器が損傷し、電子回路に不具合が生じる可能性があります。静電放電は、電子部品の取り扱いが不適切な場合に生じ、障害あるいは断続的障害を引き起こします。部品の取り外しまたは交換を行うときは、常に静電気防止手順に従います。シャーシが電氣的に接地されていることを確認してください。静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。クリップをシャーシフレームの塗装されていない表面に止めて、不要な静電気がアースに流れるようにします。静電放電による損傷とショックを防止するには、リストストラップとコードを適切に作用させる必要があります。リストストラップがない場合は、シャーシの金属部分に触れて、身体を接地してください。



注意

機器の安全を確保するために、静電気防止用リストストラップの抵抗値を定期的にチェックしてください。抵抗値は 1 ~ 10 M Ω (メガオーム) でなければなりません。

安全上の警告

ここでは、アプライアンスの取り付けと使用における安全に関する重要な警告が記載されています。



警告

オン/オフのスイッチがあるシステムでは、電源をオフにし電源コードを抜いてから作業を行ってください。ステートメント 1



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた有資格者が行ってください。ステートメント 1030



警告

この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。ステートメント 1024



警告

雷が発生しているときには、システムに手を加えたり、ケーブルの接続や取り外しを行わないでください。ステートメント 1001



警告

インストレーション手順を読んでから、システムを電源に接続してください。ステートメント 1004



警告

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。ステートメント 1040

シャーシカバーの取り外し

Firepower Management Centerカバーは、シャーシ背面からスライドして取り外すことができます。シャーシモデル間で多少の違いがあります。この違いについて、次に示す項で説明します。

- [カバーの取り外し: Firepower Management Center 750 \(B-3 ページ\)](#)
- [カバーの取り外し: Firepower Management Center 1500 および 3500 \(B-5 ページ\)](#)

カバーの取り外し: Firepower Management Center 750

Firepower Management Center 750 でのカバーの取り外し手順は、アプライアンスのリビジョン (Rev. 1 または Rev. 2) によって異なります。MC750 Rev. 1 のシャーシの図については、[図 B-1](#)を参照してください。MC750 Rev. 2 のシャーシの図については、[図 B-2](#)を参照してください。

Firepower MC750 でカバーを取り外すには:



コメント

デバイスが作業台で滑らないようにするため、MC750 (Rev. 1 または Rev. 2) の背面に滑り止めまたはストッパーが必要となる場合があります。

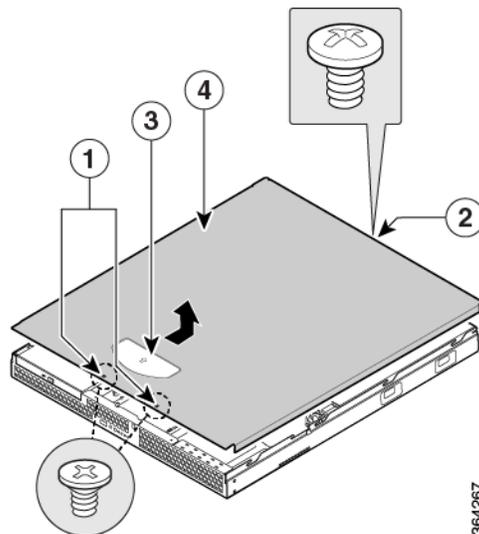
■ シャーシカバーの取り外し

- ステップ 1 静電気防止対策を施した環境での作業 (B-2 ページ) で説明する静電放電の注意事項と、安全上の警告 (B-3 ページ) で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2 シャーシの前面にある安全ネジを外します。
- Rev. 1 には 2 本のネジがあります (図 B-1 の「1」を参照)。
 - Rev. 2 には 3 本のネジがあります (図 B-2 の「1」を参照)。
- ステップ 3 シャーシの背面にある安全ネジを外します。図 B-1 と図 B-2 の「2」を参照してください。
- ステップ 4 シャーシカバーの青色のグリップ ポイントを押しながら、カバーを後方へスライドします。
- Rev. 1 には 1 つのグリップ ポイントがあります (図 B-1 の「3」を参照)。
 - Rev. 2 には 2 つのグリップ ポイントがあります (図 B-2 の「3」を参照)。
- ステップ 5 カバーを持ち上げて取り外し、横に置きます。

次の作業:

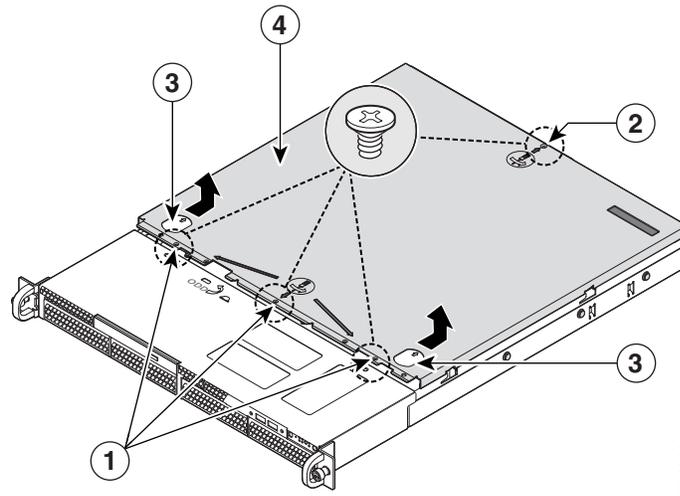
- 「プロセッサ エアダクトの取り外し: Firepower Management Center 750」セクション (B-6 ページ) の説明に従い、プロセッサ エアダクトを取り外します。

図 B-1 MC750 Rev. 1 でのカバーの取り外し



1	前面の安全ネジ	3	ゴム製グリップ ポイント
2	背面の安全ネジ	4	上部カバー

図 B-2 MC750 Rev. 2 でのカバーの取り外し



1	前面の安全ネジ	3	ゴム製グリップポイント
2	背面の安全ネジ	4	上部カバー

カバーの取り外し: Firepower Management Center 1500 および 3500

MC1500 と MC3500 の Management Center は、同一フォーム ファクタの一部を共有しています。次の手順は両方のデバイスに適用できます。

Firepower MC1500 または MC3500 でカバーを取り外すには:



コメント

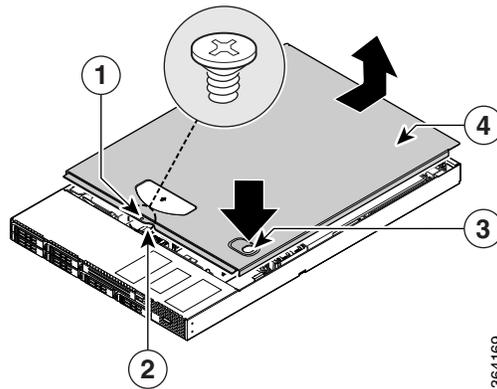
デバイスが作業台で滑らないようにするため、MC1500 または MC3500 の背面に滑り止めまたはストッパーが必要となる場合があります。

- ステップ 1** 静電気防止対策を施した環境での作業(B-2 ページ)で説明する静電放電の注意事項と、<Blue>安全上の警告(3 ページ)で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2** 安全ネジが取り付けられている場合は安全ネジを取り外します(図 B-3 の「1」を参照)。
- ステップ 3** 装置の保証ラベルがまだ切られていない場合は、保証ラベルを切ります。
- ステップ 4** シャーシ上部にある青色のボタン(図 B-3 の「3」を参照)を押した状態で、上部カバーが止まるまで、上部カバーを後方にスライドします(図 B-3 の「4」を参照)。
- MC1500 ではこのボタンは左側にあります。
 - MC3500 ではこのボタンは右側にあります(図 B-3 を参照)。
- ステップ 5** 指をノッチ(図 B-3 の「2」を参照)に入れ、カバーを上を持ち上げて取り外します。

次の作業:

- 「プロセッサ エアダクトの取り外し: Firepower Management Center 1500 および 3500」セクション(B-8 ページ)の説明に従い、プロセッサ エアダクトを取り外します。

図 B-3 MC1500 または MC3500 でのカバーの取り外し



1	安全ネジ	3	上部カバー
2	ボタン	4	ノッチ

プロセッサエアダクトの取り外し

Firepower Management Center は、プロセッサ エアダクトが装着された状態で動作します。シャーシ内の適切なエアフローを確保するため、エアダクトが必要です。シャーシの DIMM ソケットに完全にアクセスできるようにするため、エアダクトを取り外す必要があります。シャーシモデル間で多少の違いがあります。この違いについて、次に示す項で説明します。

- [プロセッサエアダクトの取り外し: Firepower Management Center 750 \(B-6 ページ\)](#)
- [プロセッサエアダクトの取り外し: Firepower Management Center 1500 および 3500 \(B-8 ページ\)](#)

プロセッサエアダクトの取り外し: Firepower Management Center 750

Firepower MC750 でのエアダクトの取り外し手順は、アプライアンスのリビジョン (Rev. 1 または Rev. 2) によって異なります。MC750 Rev. 1 のシャーシの図については、[図 B-4](#)を参照してください。MC750 Rev. 2 のシャーシの図については、[図 B-5](#)を参照してください。

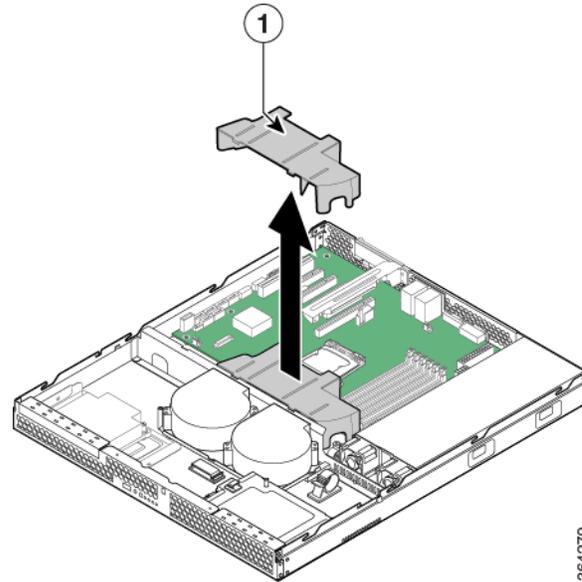
Firepower MC750 でプロセッサエアダクトを取り外すには:

-
- ステップ 1** [静電気防止対策を施した環境での作業 \(B-2 ページ\)](#) で説明する静電放電の注意事項と、[安全上の警告 \(B-3 ページ\)](#) で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2** システムの冷却ファンの後方からプロセッサエアダクトを持ちあげます
- Rev. 1 のシャーシについては [図 B-4](#) の「1」を参照してください。
 - Rev. 2 のシャーシについては [図 B-5](#) の「1」を参照してください。
- ステップ 3** エアダクトを横に置きます。
-

次の作業:

- 「DIMM の交換」セクション(B-9 ページ)の説明に従って、Firepower MC750 DIMM を取り外します。

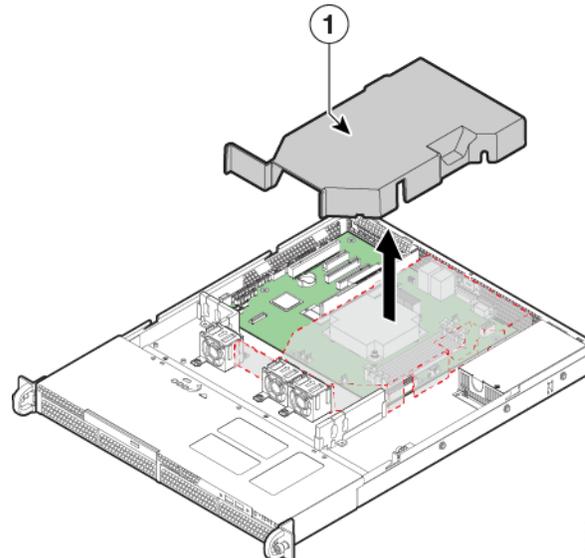
図 B-4 プロセッサエアダクトの取り外し: MC750 Rev. 1



364279

1	プロセッサ エアダクト	—	—
---	-------------	---	---

図 B-5 プロセッサエアダクトの取り外し: MC750 Rev. 2



364281

1	プロセッサ エアダクト	—	—
---	-------------	---	---

プロセッサエアダクトの取り外し: Firepower Management Center 1500 および 3500

Firepower MC1500 と MC3500は、同一フォーム ファクタの一部を共有しています。次の手順は両方のデバイスに適用できます。



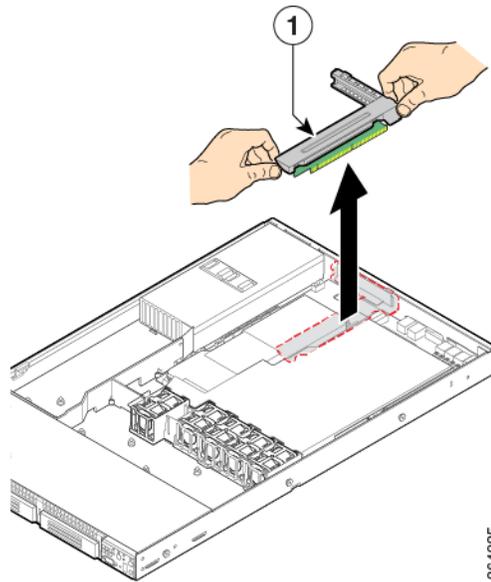
コメント

MC1500 および MC3500 からプロセッサエアダクトを取り外す前に、隣接する PCI ライザー アセンブリを最初に取り外す必要があります。

Firepower MC1500 または MC3500 でプロセッサエアダクトを取り外すには:

- ステップ 1 静電気防止対策を施した環境での作業(B-2 ページ)で説明する静電放電の注意事項と、安全上の警告(B-3 ページ)で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2 すべてのアドインカードに接続されているケーブルを取り外します。
- ステップ 3 両方のライザーのラッチを親指と人差し指でつかんで引き上げ、ライザーアセンブリを外します。
- ステップ 4 ライザーアセンブリをまっすぐ持ち上げます(図 B-6の「1」を参照)。

図 B-6 MC1500 または MC3500 での PCI ライザー アセンブリの取り外し

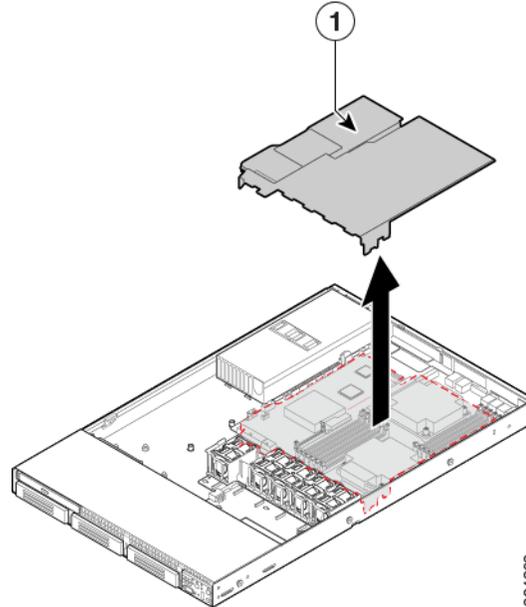


364285

1	PCI ライザー アセンブリ	—	—
---	----------------	---	---

- ステップ 5 ライザーカードコネクタの損傷を防ぐため、ライザーアセンブリを上下逆にします。
- ステップ 6 プロセッサエアダクトを、2つのプロセッサソケットの上から持ち上げます(図 B-7の「1」を参照)。

図 B-7 プロセッサエアダクトの取り外し: MC1500 または MC3500



1	プロセッサ エアダクト			
---	-------------	--	--	--

次の作業:

- 「DIMM の交換」セクション(B-9 ページ)の説明に従って、MC1500 または MC3500 の DIMM を取り外します。

DIMM の交換

アプライアンス パフォーマンスを最大限に引き出すには、メモリ モジュールの取り付けまたは交換を行う前に、メモリ要件に関するガイドラインと装着規則を熟知している必要があります。リリース Firepower システム 5.4 より前の Firepower Management Center 出荷時のデフォルトメモリ構成に関する注意事項については、メモリ アップグレードの概要(B-1 ページ)の表 B-1を参照してください。

次の表 B-3では、Firepower システム 5.4以降を実行するときの新しいメモリ要件の概要を説明します。最小メモリ要件を満たさないアプライアンスはサポートされません。

表 B-3 RAM 要件のアップグレードの概要

Management Center モデル	Firepower バージョン 5.4 以降に必要な RAM	DIMM の位置
MC750 (Rev. 1)	8 GB (4GB モジュール X 2)	A1 と B1
MC750 (Rev. 2)	8 GB (4GB モジュール X 2)	A1 と B1
MC1500	48 GB (16GB モジュール X 3)	A1、B1、および C1
MC3500	48 GB (16GB モジュール X 3)	A1、B1、および C1

DIMM の位置と向き

Firepower MC750 (Rev. 1 または Rev. 2)、MC1500、および MC3500 では、DIMM コネクタがシステム ボード上に配置されており、シルクスクリーン ラベルで識別されます。シャーシ カバー内側のクイック リファレンス ラベルから、コンポーネントの位置を確認することもできます。

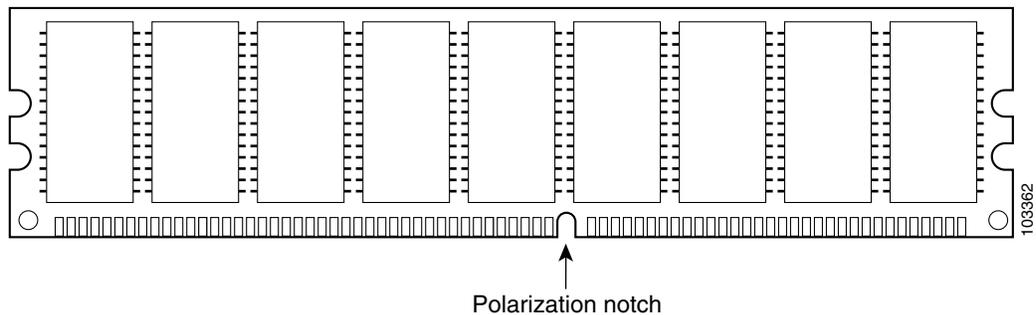


ヒント

青色の DIMM コネクタだけにモジュールが装着されていることに注意してください。

DIMM 挿入側には、挿入方向を間違えないように方向ノッチがあります。図 B-8 に、DIMM の方向ノッチを示します。

図 B-8 DIMM と方向ノッチ



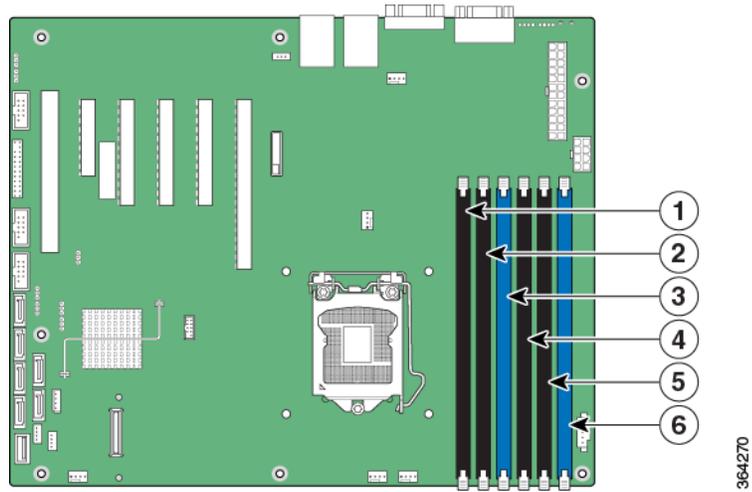
1	方向ノッチ	—	—
---	-------	---	---

Firepower Management Center での DIMM の位置

次の図を使用して、表 B-3 に示されている各自のメモリ アップグレード要件に対応する正しい DIMM コネクタを確認してください。システム ボードのシルクスクリーンにも、ボード中央から始まる DIMM ラベルが示されています。

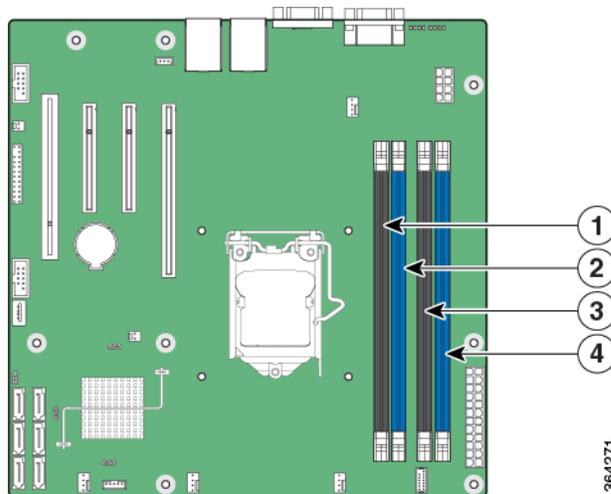
- MC750 (Rev. 1) の DIMM コネクタの位置については、図 B-9 を参照してください。
- MC750 (Rev. 2) の DIMM コネクタの位置については、図 B-10 を参照してください。
- MC1500 と MC3500 の DIMM コネクタの位置については、図 B-11 を参照してください。

図 B-9 MC750 Rev. 1 のメモリの構成と取り付け順序



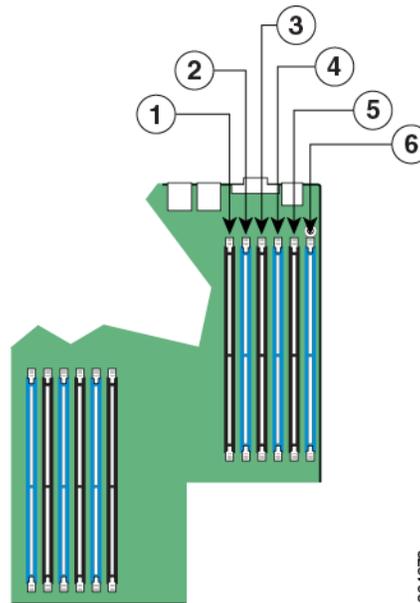
1	DIMM A3	4	DIMM B3
2	DIMM A2	5	DIMM B2
3	DIMM A1	[6]	DIMM B1

図 B-10 MC750 Rev. 2 の構成と取り付け順序



1	DIMM A2	3	DIMM B2
2	DIMM A1	4	DIMM B1

図 B-11 MC1500 および MC3500 の構成と取り付け順序



1	DIMM A2	4	DIMM B1
2	DIMM A1	5	DIMM C2
3	DIMM B2	[6]	DIMM C1

Firepower Management Center での DIMM の取り外し

Firepower MC750 (Rev. 1 および Rev. 2) Management Center には、4GB のシステム メモリがシステム ボードに装着されています。システムを 8GB RAM にアップグレードするため、装着されているすべての DIMM を取り外し、アップグレードキットのモジュールに交換する必要があります。

Firepower MC 1500 および MC 3500 Management Center には、12 GB のシステム メモリがシステム ボードに装着されています。システムを 48GB RAM にアップグレードするため、装着されているすべての DIMM を取り外し、アップグレードキットのモジュールに交換する必要があります。



注意

DIMM の取り外しまたは装着時には、必ず静電気防止用リストストラップを肌に密着させて着用してください。リストストラップの装置側をシャーシの金属部分に接続します。



注意

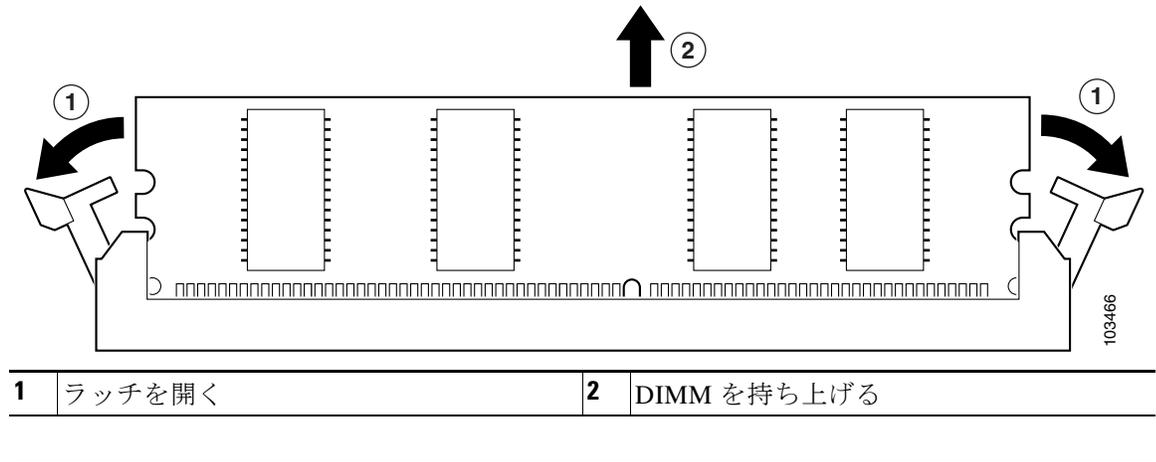
DIMM を扱う場合は、必ず端を持ってください。DIMM は静電気の影響を受けやすいコンポーネントなので、扱いを誤ると損傷するおそれがあります。

DIMM をシステム ボードから取り外すには:

- ステップ 1 [静電気防止対策を施した環境での作業 \(B-2 ページ\)](#) で説明する静電放電の注意事項と、[安全上の警告 \(B-3 ページ\)](#) で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2 システム ボード上の DIMM の位置を確認します。DIMM コネクタの位置については、ご使用の FireSIGHT Management Center モデルに応じて [図 B-9](#)、[図 B-10](#)、または [図 B-11](#) を参照してください。

ステップ 3 DIMM から両端のラッチを引いて外し、DIMM を少し持ち上げます。次に、DIMM を持ち上げてコネクタから取り外します。図 B-12を参照してください。

図 B-12 DIMM の取り外し



次の作業:

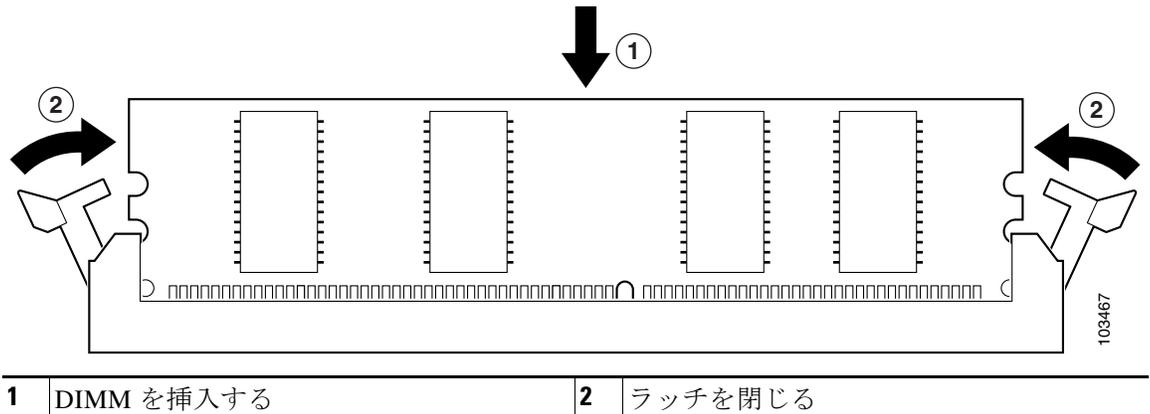
- 静電破壊を防止するために、取り外した DIMM を静電気防止用袋に入れます。これらのコンポーネントの廃棄に関しては、国、州、および地方自治体の該当する規制に従ってください。
- 「Firepower Management Center への DIMM の取り付け」セクション(B-13 ページ)の説明に従って、FireSIGHT Management Center にメモリ アップグレードキットの新しい DIMM を取り付けます。

Firepower Management Center への DIMM の取り付け

Firepower MC750 (Rev. 1 および 2)、MC1500、および MC3500 に DIMM を取り付けるには:

- ステップ 1 システム ボード上の DIMM の位置を確認します。
- MC750 (Rev. 1) の DIMM コネクタの位置については、図 B-9を参照してください。
 - MC750 (Rev. 2) の DIMM コネクタの位置については、図 B-10を参照してください。
 - MC1500 と MC3500 の DIMM コネクタの位置については、図 B-11を参照してください。
 - 各表 B-3 モデルのメモリ アップグレードの構成についてはManagement Centerを参照してください。
- ステップ 2 DIMM コネクタの両方のラッチが開いていることを確認します。
- ステップ 3 方向ノッチがコネクタの方向キーに合うように DIMM の向きをそろえます。図 B-8を参照してください。
- ステップ 4 DIMM を慎重にコネクタに合わせます。
- ステップ 5 ラッチが DIMM にはまるまで、DIMM をコネクタに慎重に押し込みます。両方のラッチが DIMM に対して閉じる位置に回転していることを確認します。図 B-13を参照してください。

図 B-13 DIMM の取り付け



次の作業:

- 「プロセッサエアダクトの取り付け」セクション(B-14 ページ)の説明に従い、Firepower Management Center のプロセッサエアダクトを交換します。

プロセッサエアダクトの取り付け

Firepower Management Center は、プロセッサエアダクトが装着された状態で動作する必要があります。シャーシ内の適切なエアフローを確保するため、エアダクトが必要です。メンテナンス手順の実施後には常にエアダクトを再度取り付ける必要があります。シャーシモデル間で多少の違いがあります。この違いについて、次に示す項で説明します。

- プロセッサエアダクトの取り付け: Firepower Management Center 750(B-14 ページ)
- プロセッサエアダクトの取り付け: Firepower Management Center 1500 および 3500(B-16 ページ)

プロセッサエアダクトの取り付け: Firepower Management Center 750

Firepower MC750 でのプロセッサエアダクトの取り付け手順は、アプライアンスのレビジョン (Rev. 1 または Rev. 2) によって異なります。Firepower MC750 Rev. 1 のシャーシの図については、[図 B-14](#)を参照してください。Firepower MC750 Rev. 2 のシャーシの図については、[図 B-15](#)を参照してください。

Firepower MC750 でエアダクトを取り付けるには:

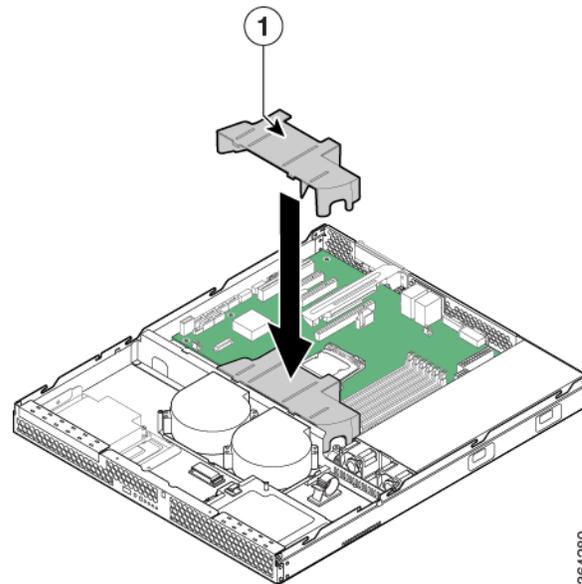
- ステップ 1 [静電気防止対策を施した環境での作業\(B-2 ページ\)](#)で説明する静電放電の注意事項と、[安全上の警告\(B-3 ページ\)](#)で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2 プロセッサエアダクトを下げて所定の位置に装着します。
- Rev. 1 のシャーシでは、プロセッサエアダクトの前面にある 2 つのフックを、2 つのシステム冷却ファンの後方にあるブラケット上の対応するスロットに差し込みます([図 B-14](#)の「1」を参照)。

- Rev. 2 のシャーシでは、プロセッサエアダクトの前面にある2つのフックを、2つのシステム冷却ファンの後方にあるブラケット上の対応するスロットに差し込みます。エアダクト付近またはエアダクトの下にあるケーブルをはさんだり、抜いたりすることが無いように注意してください(図 B-15の「1」を参照)。

次の作業:

- 「カバーの取り付け: Firepower Management Center 750」セクション(B-18 ページ)の説明に従ってシャーシのカバーを取り付けます。

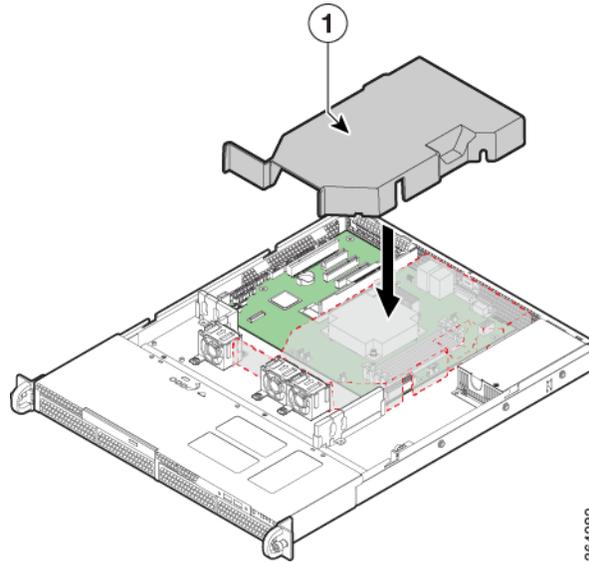
図 B-14 MC750 Rev. 1 でのプロセッサエアダクトの取り付け



364280

1	プロセッサ エアダクト	—	—
---	-------------	---	---

図 B-15 MC750 Rev. 2 でのプロセッサ エアダクトの取り付け



364282

1	プロセッサ エアダクト	—	—
---	-------------	---	---

プロセッサエアダクトの取り付け: Firepower Management Center 1500 および 3500

Firepower MC1500 と MC3500 の Management Center は、同一フォーム ファクタの一部を共有しています。次の手順は両方のデバイスに適用できます。



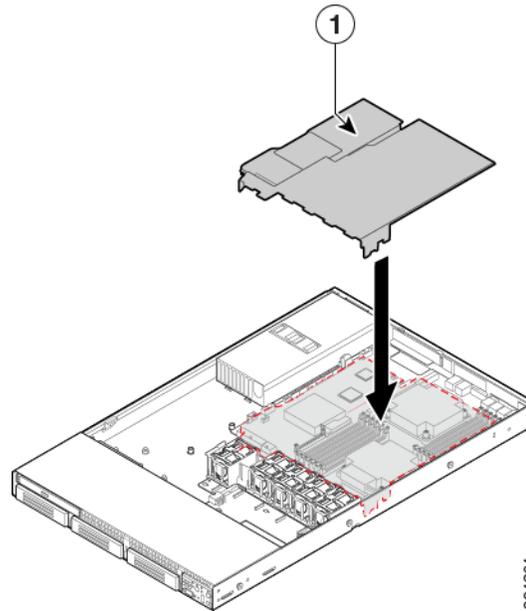
コメント

Firepower MC1500 および MC3500 にプロセッサ エアダクトを取り付けた後で、隣接する PCI ライザー アセンブリを取り付ける必要があります。

Firepower MC1500 または MC3500 でプロセッサ エアダクトを取り付けるには:

- ステップ 1** 静電気防止対策を施した環境での作業 (B-2 ページ) で説明する静電放電の注意事項と、安全上の警告 (B-3 ページ) で説明する安全の注意事項をお読みください。
- ステップ 2** プロセッサ ソケットの上にプロセッサ エアダクトをかぶせます。エアダクトの前面の縁を、ファン モジュールのノッチに正しく合わせる必要があります。エアダクト付近またはエアダクトの下にあるケーブルをはさんだり、抜いたりすることが無いように注意してください。図 B-16 の「1」を参照してください。

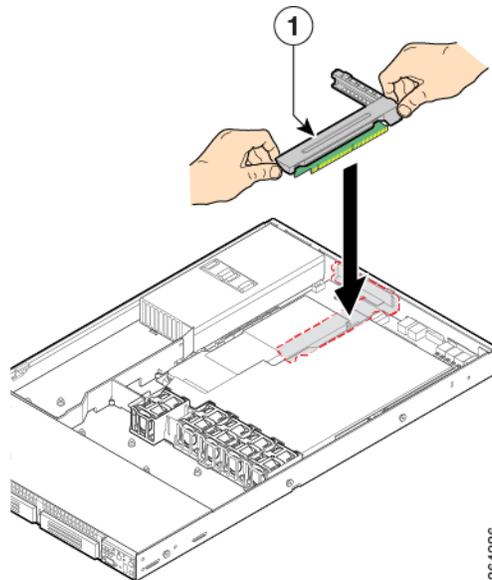
図 B-16 MC1500 または MC3500 でのプロセッサエアダクトの取り付け



1	プロセッサ エアダクト	—	—
----------	-------------	---	---

- ステップ 3** PCI ライザー アセンブリを下げ、所定の位置に装着します。ライザー アセンブリの 2 つのフックを、シャーシ背面の対応するスロットに合わせます(図 B-17 の「1」を参照)。
- ステップ 4** PCI ライザー アセンブリの背面にある 2 つのフックがシャーシの背面パネルのスロットにはまるまで、均等に押し込みます。ライザー カードがシステム ボードの対応するソケットにはまります。

図 B-17 MC1500 または MC3500 での PCI ライザー アセンブリの取り付け



1	PCI ライザー アセンブリ	—	—
----------	----------------	---	---

次の作業:

- すべてのアドイン カードに接続されたケーブルを再び接続します。
- 「カバーの取り付け: Firepower Management Center 1500 および 3500」セクション(B-20 ページ) の説明に従ってシャーシのカバーを取り付けます。

シャーシカバーの取り付け

FireSIGHT Management Center にはシャーシ背面からスライドするカバーがあります。シャーシモデル間で多少の違いがあります。この違いについて、次に示す項で説明します。

- [カバーの取り付け: Firepower Management Center 750 \(B-18 ページ\)](#)
- [カバーの取り付け: Firepower Management Center 1500 および 3500 \(B-20 ページ\)](#)

カバーの取り付け: Firepower Management Center 750

Firepower MC750 でカバーを取り付けるには:

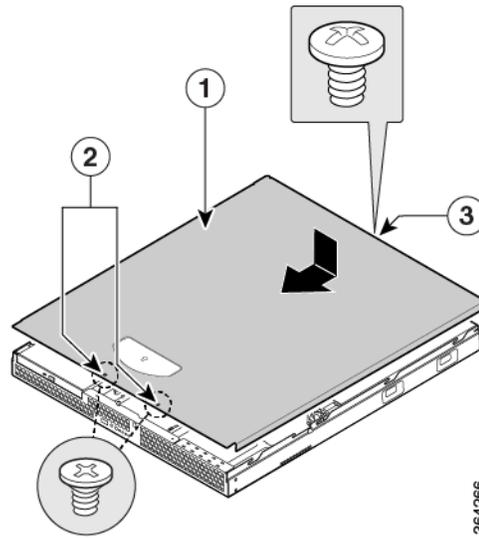


コメント

デバイスが作業台で滑らないようにするため、MC 750 背面に滑り止めまたはストッパーが必要となることがあります。

-
- ステップ 1** カバーをシャーシにかぶせ、前方にスライドします(図 B-18 および図 B-19 の「1」を参照)。
- ステップ 2** シャーシの前面に安全ネジを取り付けます。
- Rev. 1 には 2 本のネジがあります(図 B-18 の「1」を参照)。
 - Rev. 2 には 3 本のネジがあります(図 B-19 の「1」を参照)。
- ステップ 3** シャーシの背面に安全ネジを取り付けます。図 B-18 の「3」と図 B-19 の「4」を参照してください。
-

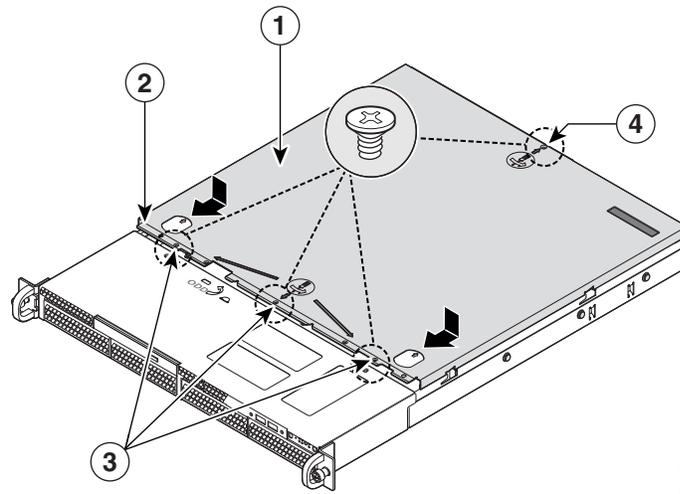
図 B-18 MC750 Rev. 1 でのカバーの取り付け



364266

1	上部カバー	3	背面の安全ネジ
2	前面の安全ネジ	—	—

図 B-19 MC750 Rev. 2 でのカバーの取り付け



364269

1	上部カバー	3	前面の安全ネジ
2	凹状エッジ	4	背面の安全ネジ

カバーの取り付け: Firepower Management Center 1500 および 3500

Firepower MC1500 または MC3500 でカバーを取り付けるには:

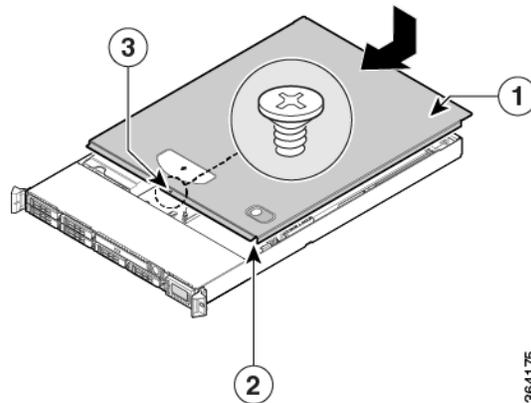


コメント

デバイスが作業台で滑らないようにするため、MC1500 または MC3500 の背面に滑り止めまたはストッパーが必要となることがあります。

- ステップ 1** 図 B-20 に示すようにデバイスの上にカバーを配置し、カバーの側端がシャーシ側面の内部に配置されるようにします。
- ステップ 2** カバーを前方にスライドし、カバーの凹状エッジをシャーシ前面に合わせます(図 B-20 の「2」を参照)。カチッという音がしてカバーのラッチがはまったことを確認します。
- ステップ 3** 上部カバーの中央に安全ネジを差し込みます(図 B-20 の「3」を参照)。

図 B-20 MC1500 および MC3500 でのカバーの取り付け



364175

1	上部カバー	3	安全ネジ
2	凹状エッジ	—	—